



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月10日

上場会社名 あんしん保証株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7183 URL https://anshin-gs.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)雨坂 甲  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部担当 (氏名)中西 光明 (TEL) 03(6627)3440  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,217	9.1	274	11.8	325	7.4	217	7.2
2022年3月期第2四半期	2,032	—	245	—	303	—	203	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	12.12	—
2022年3月期第2四半期	11.31	—

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注2) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期第1四半期会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に関する各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっておりますが、2021年3月期第2四半期に係る各数値については遡及適用を行っておりませんので、2022年3月期第2四半期の経営成績の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,492	1,912	22.5
2022年3月期	8,066	1,749	21.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,907百万円 2022年3月期 1,743百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期の対前年増減比)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,510	9.2	497	8.6	618	5.2	420	4.8	23.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	17,976,600株	2022年3月期	17,976,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	112株	2022年3月期	112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	17,976,488株	2022年3月期2Q	1,796,488株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、為替相場における急速な円安進行やウクライナ情勢の長期化を背景とした資源価格の高騰等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

賃貸住宅市場におきましては、令和4年9月の新設住宅着工戸数が前年同月比1.0%増、2ヶ月連続の増加となる中、貸家着工戸数は前年同月比8.1%増、19ヶ月連続の増加となりました。(国土交通省総合政策局建設経済統計調査室発表：建築着工統計調査報告 令和4年9月分)

このような事業環境のもと、当社は、営業面では新規・再稼働加盟店への積極開拓と主要加盟店への重層的なフォローの両立を図り、新商品・付帯商品の導入、拡販等に取り組むとともに、新たなクレジットカード会社との業務提携・新商品販売を開始いたしました。

債権管理面では債権管理体制に組織改編に応じた業務フローを構築し、業務効率向上に向けた各運用の改善、適正化を図ってまいりました。また、従来のWEB申込連携に加えて、API連携先の拡充や電子契約等の各種WEBサービスの連携強化を図るとともに、お客様の利便性向上を目指しアプリ機能のリリースに向けて取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業収益2,217,062千円(前年同期比9.1%増)、営業利益274,039千円(前年同期比11.8%増)、経常利益325,861千円(前年同期比7.4%増)、税引前四半期純利益325,861千円(前年同期比7.4%増)、四半期純利益217,803千円(前年同期比7.2%増)となりました。

当社の事業セグメントは、家賃債務保証事業の単一セグメントでありますので、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産につきましては、前事業年度末に比べ425,959千円増加の8,492,128千円(前事業年度末比5.3%増)となりました。増加の主な要因は、自社保証の拡大等により収納代行立替金が653,630千円増加したことによるもののほか、季節的変動等により営業未収入金が249,207千円減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ262,049千円増加の6,579,144千円(前事業年度末比4.1%増)となりました。増加の主な要因は、収納代行預り金が466,853千円増加したことのほか、短期借入金金が50,000千円及び営業未払金が135,091千円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ163,909千円増加の1,912,983千円(前事業年度末比9.4%増)となりました。増加の主な要因は、四半期純利益217,803千円を計上したこと等によるもののほか、剰余金の配当53,929千円等によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,373,831千円と前年同期と比べ73,381千円(5.6%)の増加となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、増加した資金は204,354千円(前年同期は161,398千円の収入)

であります。この主な増加要因は、税引前四半期純利益325,861千円、営業未収入金の減少額249,207千円、収納代行預り金の増加額466,853千円等であり、主な減少要因は、収納代行立替金の増加額653,630千円、営業未払金の減少額135,091千円及び法人税等の支払額84,026千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、減少した資金は8,104千円(前年同期は28,253千円の支出)となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出6,545千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、減少した資金は103,431千円(前年同期は53,472千円の支出)となりました。この減少要因は、短期借入金の返済による支出50,000千円その他、配当金の支払額による支出53,431千円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月11日に発表しました業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,281,013	1,373,831
営業未収入金	528,894	279,687
求償債権	1,361,328	1,355,393
収納代行立替金	4,235,932	4,889,562
前払費用	35,978	33,806
その他	23,510	17,884
貸倒引当金	△592,313	△605,877
流動資産合計	6,874,343	7,344,289
固定資産		
有形固定資産	50,091	49,142
無形固定資産	193,995	158,420
投資その他の資産		
繰延税金資産	865,702	864,937
その他	82,036	75,338
投資その他の資産合計	947,738	940,276
固定資産合計	1,191,824	1,147,839
資産合計	8,066,168	8,492,128
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	350,000	300,000
営業未払金	272,320	137,229
未払金	71,845	44,422
未払費用	26,508	27,868
未払法人税等	95,495	118,581
収納代行預り金	2,741,739	3,208,593
預り金	11,300	11,071
契約負債	2,558,911	2,536,469
賞与引当金	74,935	77,125
保証履行引当金	76,827	82,085
その他	31,811	30,298
流動負債合計	6,311,694	6,573,744
固定負債		
その他	5,400	5,400
固定負債合計	5,400	5,400
負債合計	6,317,094	6,579,144
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	680,942	680,942
資本剰余金	435,942	435,942
利益剰余金	626,696	790,570
自己株式	△33	△33
株主資本合計	1,743,548	1,907,422
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86	122
評価・換算差額等合計	86	122
新株予約権	5,439	5,439
純資産合計	1,749,074	1,912,983
負債純資産合計	8,066,168	8,492,128

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業収益	2,032,584	2,217,062
営業費用	1,787,519	1,943,022
営業利益	245,064	274,039
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	8	6
受取遅延損害金	39,914	40,397
償却債権取立益	24,472	14,604
助成金収入	18,100	4,204
その他	254	1,580
営業外収益合計	82,758	60,801
営業外費用		
支払利息	5,611	7,782
市場変更費用	18,836	—
その他	16	1,197
営業外費用合計	24,465	8,979
経常利益	303,357	325,861
特別損失		
固定資産除却損	16	—
特別損失合計	16	—
税引前四半期純利益	303,340	325,861
法人税、住民税及び事業税	107,023	107,309
法人税等調整額	△6,950	748
法人税等合計	100,073	108,058
四半期純利益	203,267	217,803

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	303,340	325,861
減価償却費	44,712	45,864
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	84,653	13,564
保証履行引当金の増減額 (△は減少)	△60	5,257
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,844	2,190
固定資産除却損	16	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△101	—
助成金収入	△18,100	△4,204
受取利息及び受取配当金	△15	△14
支払利息	5,611	7,782
営業未収入金の増減額 (△は増加)	254,994	249,207
求償債権の増減額 (△は増加)	△43,499	5,935
収納代行立替金の増減額 (△は増加)	△494,607	△653,630
前払費用の増減額 (△は増加)	△4,259	2,164
長期前払費用の増減額 (△は増加)	310	153
営業未払金の増減額 (△は減少)	△136,837	△135,091
未払金の増減額 (△は減少)	△20,666	△27,422
前受収益の増減額 (△は減少)	△210,093	—
契約負債の増減額 (△は減少)	213,683	△22,442
収納代行預り金の増減額 (△は減少)	339,352	466,853
その他の資産の増減額 (△は増加)	△5,805	10,985
その他の負債の増減額 (△は減少)	△3,812	△1,076
小計	315,661	291,937
利息及び配当金の受取額	15	14
利息の支払額	△5,602	△7,775
助成金の受取額	18,100	4,204
法人税等の支払額	△166,776	△84,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,398	204,354
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△1,851
無形固定資産の取得による支出	△17,648	△6,545
投資有価証券の売却による収入	290	—
その他	△10,896	292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,253	△8,104
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△50,000
配当金の支払額	△53,472	△53,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,472	△103,431
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	79,672	92,818
現金及び現金同等物の期首残高	1,220,778	1,281,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,300,450	1,373,831

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症に関する仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。